

授業科目名 基礎看護方法論Ⅲ	第二看護学科 2年次 前期 1単位(30時間)
----------------	-------------------------------

### I. 授業の目的・目標 (ねらい)

- 1) 看護の目的を遂行するための、系統的、意図的、科学的な計画と問題解決法に立った過程が看護過程であることが理解できる。
- 2) 看護過程の構成要素(アセスメント、看護診断、計画、実施、評価の5段階)と展開方法の基礎について事例演習を通して理解できる。
- 3) フィジカルアセスメントのための基礎的知識を身につける。
- 4) 演習を通してフィジカルアセスメントの基礎的技術を習得する。

### II. 授業計画

回		授 業 内 容	講義・演習	備 考
1	看護過程	講義①：看護過程とは/ 構成要素1；アセスメント①	講義	
2		演習①：知識の確認/情報の分類・整理	演習	
3		講義②：構成要素1；アセスメント②	講義	
4		演習②：アセスメント①	演習	
5		演習③：アセスメント②	演習	
6		講義③：構成要素2；計画	講義	
7		演習④：看護目標・問題リスト	演習	
8		演習⑤：計画立案	演習	
9		講義④：構成要素3；実施 構成要素4；評価	講義	
10		看護診断	講義・演習	
11	フィジカルアセスメント	呼吸系①：基本技術・胸壁と肺との関係	講義・演習	
12		呼吸系②：呼吸音		
13		循環系：脈の触知・心音・末梢循環		
14		脳神経系：意識・瞳孔		
15		演習		

### III. 使用テキスト・参考文献

ナーシング・グラフィカ 基礎看護学 ②基礎看護技術Ⅰ	メディカ出版
ナーシング・グラフィカ 基礎看護学 ③基礎看護技術Ⅱ	メディカ出版
古橋洋子他著 患者さんの情報収集ガイドブック 第2版	メヂカルフレンド社
高木永子監修 看護過程に沿った対症看護 第5版 学研	
看護診断ハンドブック 第11版 医学書院	
山内豊明著 フィジカルアセスメントガイドブック第2版	医学書院

### IV. 成績評価の方法

筆記試験、技術試験、出席状況、提出物、参加状況  
\*筆記試験と技術試験両方合格することで、単位修得とする。

### V. 実習との関連

成績評価要綱第13条により、この科目を修得しなければ基礎看護学実習Ⅱを履修することができない。